

刊夕日二十二月五

常磐毎日新聞

定価 一部全紙一円五銭 郵費別
 廣告料 五號十二字一行情五拾銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

學校時代の子供と母

千葉 右一

子供を學校へ入れて後は教育は學校へ委せて置けば安心と云ふやうに考へる人が今更少なくない。しかし子供の生命は學校に於ける刺戟だけで、展びるものではなく、彼等が住む家庭から又社會からの刺戟が亦著しき影響を及ぼす事は論ずる迄もない。殊に今日の日本の一般の學校の状態では、多數の生徒を少數の教師が指導して居るので一人一人に對して、周到なる指導を望むは無理なことであるから、母は學校と協力して、その子の上に教育の効果を擧げる事を努めねばならぬ。それは母は屢々學校を訪問して、その教育の目的及方法を理解する事が必要である。

ノート

背廣服といふのは、カンドンのセビルローといふ町の名から起つたもの此の町には立派な洋服店が多い

學校と共に母が協力して子供のために盡すべきことの第一は子供の體育の爲めの協力である。子供に適した營養を、運動を其の他衛生上の諸注意を、母は子供を助けて實行させるやう獎勵すべきである。第二効果ある思考力を養成の爲めの協力である。母は所謂學課の成績を擧げる事のみを急いではならぬ。子供自ら考へしめねばならぬ。子供の質問をうるさがつたり、求知心を打ち砕いたり或は子供の問ひに餘す所なく説明を與へて、子供をして考へる必要なからしめたりする事は、思考力を衰へさせる事になる。子供

自由と適切に自己發表をなさしむる能力を養成するやうに母は學校と協力すべきである。

文藝募集

自由と適切に自己發表をなさしむる能力を養成するやうに母は學校と協力すべきである。

- 明日の献立
- 朝【牛乳 カステラ フルーツ ゼリー
- 【晝】焼魚 鮮魚 バタヤキ
- 【晚】蛤の清汁 和へ物 わさび合へ 三つ葉

自ら計劃を立てさせ一時に一事へと集中せしめて、自身の問題を、自身で解決し得る力を養ふやうに指導すべきである。

第三、自己發表の力を養成する爲め協力すべきである。子供が其れ、内部に持つてゐる力を自由に發表し得る能力を養ふことは、教育の目的である。子供は其の自己發表により、自身を展ばして行くものである。

美味！ 芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

市原醫院

平・田町 電話一四四番

毎度有難うございます
 エビフライ
 ビフテキ
 洋食
 喫茶
 宴会
 コシハル
 女給數名募集
 平野前新道通り
 TEL.666

店主が店員を連れ出て行かれる
 正シイ食堂
 正シイ喫茶
 正シイ酒場
 平・田町
 レストラン
 電話二五三番

今年のパラソルの流行は!!!

新人の店 大黒屋洋品店主談

輝かしい新緑と共に初夏の陽も強くなり、御婦人の必需品パラソルの流行は最近ぐんと上り初めました。「今年の流行は二重張が断然流行界のトップを切り「生地」はお安い物でボイル表の人絹裏の二重張一寸上物でジョセット表の本絹裏二重張ですが、極上物になりまして、加工、チック加工シチュウ加工加工になつて居ります。「型」は昨年同様骨數が多いので變りなく

にぎり気持長い位です「模様と加工と色」は和服の流行と同じく明るい色合が第一で模様は日本趣味の花模様が多く、たゞ學校卒業されたばかり位のお若い方には一重コハク地に原色で強く線を織り出したものなどもすつきりした感じを出しますので、特に好評です。おいらびになるには自分の個性を生かして顔と真物の調和性のあるものをおいらびになる事が一番です。さて「値段」はと申しますとほとんど二重張の爲手間が二倍かかるので

製造能力が上らない爲先は品不足で先高とくろうと筋は見て居りますから早くお買になつた方が安くて良い柄を選ぶ事も出来、御利益かと存じます幸いにも皆様の御愛顧は東京のデパートと専門の製造家の新期契約がむすばれましたので東京デパート其のまゝの安値で御願ひする事が出来、全部本年の新柄は到着致しました。パラソルの御買上には一應大黒屋を御覧になる事が徳策かと存じます。

今年の相場
 ボイル二重張 一圓半ヨリ
 ジョセット 二圓半ヨリ
 本絹 三圓半ヨリ
 コハク一重 二圓ヨリ五圓

御参詣團體募集

一、柳居津國藏尊(猪苗代湖白虎隊廻り) 自動車賃往復御一名 金二圓也

二、成田山(宇吾様笠間稻荷廻り) 自動車賃往復御一名 金二圓五十銭

三、日光(笠間稻荷廻り) 御一名様自動車賃往復金二圓五十銭

出 申込切 六月四日午前二時
 出 申込切 六月五日午前二時
 出 申込切 六月七日午前一時

定員ハ各車共二十名
 定員未滿ノ節ハ勝手ニ延期致ス事モアリマス
 尙御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

主催 尼子遊覽部
 電話六四〇番

丹野齒科醫院

丹野 淳 夫
 平野前 電話三八五番

何となく
 頭重て不快の方
 二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣
 平町中仲町(電一九三番)

鐵道の切割に

五百株移植

濃艶な印象

旅客の眼に

松ヶ岡公園宣傳プラン

色態々な精彩を放つて櫻花と共に漸く他地方にも知らるゝに至つた松ヶ岡公園の躑躅は昨今盛りを過ぎたが町では早くも來年のプランに取り懸つた、夫れに依ると密生した樹株を根分けして松ヶ岡公園の傍らに走る鐵道線路を狭む切割の二萬八千八百八十米の兩急傾斜面に約五百株を移植し躑躅のトンネルを展開せし

ルネットの躑躅

めて列車の旅客を慰安する一方公園を宣傳する案を立て切割傾斜の土地所有者である鐵道省に對し近く正式に土地借用方を申請する

分會長の

辭任を認め

早速後任者詮衡
平町在郷軍人分會は昨廿日評議員會を開き藤田分會長の辭任申出を附議した結果是れを認め今夕六時よりの幹事會で後任分會長を決定すると

愈よ平町に

青年學校新設

學務委員會が附議

平町は來月三日午前十時から町會議事堂に學務委員會を開き青年學校の新設に就いて協議する

郵便貯金

懸賞入選

平各校児童

平郵便局では兼て平町、學校児童中より郵便貯金獎

高一ノ一杉山初(綴方)六ノ一關原芳枝(六ノ二)野口チエ子 六ノ四信田榮子(ボスター)六ノ四櫻庭美代 △第三校(綴方)四ノ一吉田良二 四ノ三鈴木カツ子 五ノ四松崎幸行 六ノ二赤里武彦 六ノ四吉田真一

優良分團員

本日總會で表彰

平町青年團定時總會は廿一日午後一時よりマルトモホールにて開催され昨年度中の退任分團長へ感謝狀を贈呈し併せて優良分團員を表彰したがその氏名左の如くである
(退任分團長)材木町緑川 茂 二丁目里見榮一 鎌田佐藤幸次郎 十七區蛭田千代松 白銀町加藤正保 同宮川義一 田町鈴木武夫 才植小路門馬淺次郎 胡摩澤佐藤信夫 (優良分團員)長橋町龜岡 貞夫 研古佐々木三郎

本縣最初の

四時橋の新様式

渡り初め

平土木監督所が昨年十二月より工費一萬五千圓を投じ架替工事中の川部村字小川地内四時橋は本縣で最初のゲルバー式のモダンコンクリート橋で附近の取付道路工事を残し大半成したが來月末全工事の竣工を待つて盛大な渡橋式を行ふと

体育協會

新年度幹事

本縣體育協會石城支部幹事は明後廿三日午後一時より平第一小學校講堂に開かれるが新年度の幹事は左の通りである

体育行事

第一校の分

平第一小學校の今年度對外的體育行事は左の通り
(五月廿八日)磐中運動會 兒童八百米競走(七月上旬)郡下教員野球大會(九月下旬)第三區兒童競走大會 同双葉中學運動會 繼走出場(十月中旬)縣師範學校運動會兒童六百米競走出場 郡下學童競走大會(十一月初旬)郡下教員庭球大會 第三區兒童籠球大會(二月中旬)郡下兒童劍道大會

桑園整理

郡下配當金

郡下各町村の本年度桑園整理改植及び混作獎勵の縣補助金は今回左記の如く總額一萬三千五百九圓を割當と決定近く各町村に支給されるが町村別配當額左の如くである

- 泉村一七九 植田三六五 錦六七六 上遠野五一七 川部四九七 平三五 夏井三二八 豊間七二 鹿島二 玉川一〇 湯本 好間一八九 永戸箕

東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東	一四三	一四三	一四三
大新	九六	九六	九六
新新	三三	三三	三三
日新	二五	二五	二五
帝人	七五	七五	七五
東洋	七五	七五	七五
日魯	六六	六六	六六
日石	四七	四七	四七
日産	九六	九六	九六
鋼管	二〇九	二〇九	二〇九
東電	四三	四三	四三
日電	五五	五五	五五

平町人事

出生
△南町 田村正顯氏長女克子
△材木町 當時東京市深川區東陽町一丁目西野國近氏長女和歌子
一回 婚 姻
△材木町三五 西野國近氏(三九)千葉縣市原郡八幡町八入間さわ(三二)さん
△四軒町二三 水野光男(二ツ)さん

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
副院長 日本齒科醫學士 西川 誠
保存科補綴科 繼續架
小兒齒科 齒槽膿漏科
一、レントゲン科
平町田町(松月堂向) 電話 五〇九番

高久村に 吉野朝時代 文化の跡 十数箇の石棺等 續々有力な資料

既報高久村大字高野作地内は最近になって屢々考古學の有力な資料たる古刀石棺其他古器物が續々發掘されるので郷土史研究家である警女教諭山口彌一郎氏の一

四名は、昨日午前十時同村に出張實地考證を行つたが既に發掘されてある古墳は石棺十數個を掘起して荒すが儘になつて居るの

各種の参考史料を綜合して調査した結果に依ると最近發掘されたのはいづれも二百年前後の物らしく同村は既に吉野朝時代から絢爛たる磐城文化を展開せるものらしいと

家に歸らぬ 柴狩爺さん

死体となつて現れ
一時は他殺の疑ひ

湯本町大字水野谷字諏訪畔渡邊與七郎弟森喜兵衛(五)は本月十五日柴狩りに出掛けた儘歸宅しないので附近山林を捜査中の處昨日朝同町字小金澤地内山林に腐爛死体となつて横わつて居るのを通行人が発見平署瓜生部長が検視した處下駄や鎌が一町餘も離れた箇所にあるので他殺の疑ひを生じ昨日午後三時渡邊司法主任は刑事一行及び藤沼醫師と共に現場に辻々種々取調

たが腦溢血と判明同日夕刻他殺の疑ひを解いて屍体を家人に引渡した

夏のロメを 大衆向に提供

神谷農事試験分場は未だ全国的に試みられて居ないメロンの夏作を七月下旬より行ふ爲め用土其他の研究中

あるが夏作メロンは冬期栽培と反し火力の保温を行はず太陽に依る自然の高熱を利用して成熟させ一個二、三十錢で大衆向の成果を提供する計劃で七月中旬に下種したメロンは十月上旬迄に摘果出来るとの事である

第三校父兄會 平第三小學校は来る廿四日午前八時より父兄懇話會を開き授業參觀、學藝會、父兄懇談等を行ふと

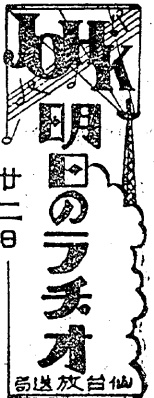
差し入れを口實に 前科者が衣類横領

入所中に知り合つて
留守居の妻女を騙る

宮城縣桃生郡鹿又村生れ住所不定星太郎(三)は去月中旬に宮城刑務所を出獄したが入所中に知り合つた警崎村藁谷惣太郎(五)の妻ウメ方に立寄り藁谷に差し入れをしてやると稱して衣類五點時價七圓餘の品を受取り横領したので平署で手配中の處此程仙臺署に檢舉された

電話簿の 廣告受付

平郵便局では今廿一日より來月末日まで電話番號簿へ廣告掲載の申込受付を開始したが本縣電話番號簿は約八千五百三十部の多數を發行し商策上極めて効果的の爲め逐年申込者の増加を示してゐると、尙今回受付の分は八月一日現在にて調整するが料金其他は昨年同様で詳細は平



今晩も明日も南西の風曇後天氣良くなる

今晚の部
後八、〇〇 子供の時間
國史物語「大楠公」三部曲
第一編の若葉大阪放送童話劇研究會
後六、二五 青年の時間
「田園の文學」吉田絃二郎
後七、三〇 京城より 講
演「樂浪の文化に就て」藤田亮策

明日の部
前六、三〇 英語講座(三の二)ジョージ・ケージ
前二、三〇 母の時間
「中學生の小遣に就て」三輪田元道
前二、〇〇 大楠公史蹟
巡り(第一日)臨時講演
「大楠公誕生前後の世相」大阪府女專教授魚澄惣五郎
後〇、〇五 吹奏樂 一序曲「聖セシリヤ」よりヘンデル曲 大阪市音樂隊
指揮林巨
後二、四〇 小學生の時間
居た二毛作の姿を新たに引受けた小作人前記薄葉に刈取られて了つたのを恨ん

(高)國史「大楠公と朱舜水」藤卷正之
後三、一〇 教師の時間
「小學校の家事の指導」堀七藏
後六、〇〇 子供の時間
國史物語「大楠公三部曲」第二菊水の旗 大阪放送童話劇研究會
後七、三〇 「大楠公を偲びて」文學博士三上參次
後八、〇〇 講談 一龍齋貞丈
後八、三〇 琵琶「大楠公」山元旭錦
後八、四五 義太夫「吉野都女楠」竹本叶太夫
で此の傷害に及んだものであると

宗教劇の淨財を 貧困兒童救済に

興業代表者が學校へ寄附

昨二十日午後三時頃名古屋市花園町二二五二東京新聲座代表者松浪精一氏といふ人が平第一校を訪れ折柄居合せた千葉第二小學校長と篠山校長へ金五圓宛「貧困兒童に與へて下さい」と差出したが同氏は全國各地を宗教劇「彌陀の光」を上演巡業して得た淨財を其の地の小學校へ寄附して居る奇特の士で學校では早速町長へ報告し感謝狀を贈つた

平職業紹介所報告
回人を求める方
△農夫 二十前後 月十五圓迄
△調理職 二十五才 尋卒
△事務員 二十才 中卒
△外交員 二十八才 實補卒
△外交員 二十一才 尋卒
△水配達 二十五 才高卒

上田醫院

平町南町
電話一二九番

小作人の恨み

徳利で額を割る

平窪村大字上平窪字五反田農矢野千代吉(三)は本月二日夜同村岡部近久方で部落共有の用水堀竣工祝ひの祝宴で居合した同村薄葉喜藏(七)と些細の事から喧嘩となり徳利で薄葉の前額部を毆打し三週間を要する傷を負した事發覺昨日平署に引致して取調べると同人は親父の代から二十年に亘つて同村鈴木庄之助の水田一反五畝を借受け小作して居たが昨年小作米に粗が多過ぎるとの理由で水田を取上げられ刈取る許りになつ

平裁判たより

△老の巢を追はれて恨みの放火をした平町舊城跡居住當時同町一丁目三三三大弓場監守人塚田竹之助(六)に係る放火事件の公判は中島判事係りで來月四日午前十時より平支部に開廷される

福師同窓會

十五日開催

福島縣師範學校同窓會は來月十四日午後四時より九友ホールに支部長及び委員會



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島雄史
(監) 野口

第二百二十八回

延察館夜景 (九)

「何故ですか」
「お前が、あまりきれいだからよ」

「あら、御前、おからかひ遊しちやいやでございますわ」

おふくとよばれた美女は、とろける様な眼でいらんだからかふものか、お前の天性の麗質に迷ふのはこの江藤新平のみではないのぢや」

「まあ」
「伊藤も、木戸も、大隈もいや延遠館へ出入りする當代大官は勿論、外國使臣までがお前の美しさに惱殺されて居るのぢや」

「……」
江藤の冷たい程な真顔に打たれておふくは口びるを結んだ。

「お前はな美人と生れて不幸なぢやぞ」
「あらどうしてでございませぬの」

「お前は恐ろしい人鬼にねらはれて居る」

「……」
「おふく」
江藤はもう一度改めで女

の名を呼んだ。

「はい」

「お前は江藤にねらわれ、木戸に注目され、岩崎如きまでが關心してをるが其の事を云ふのではない、おれはお前を信じて居る。伊藤

「……」
「その人鬼と云ふのは英國公使パークス奴ぢや」

「まあ……」
「パークスは、延遠館のダンス場でお前を見そめたのぢや、お前を妾にほしいといふて大隈にせがんで居るさうぢや」

「おふくはなで肩を一層落として深いため息をついたとこが、大隈としてはどうしてもそれを拒絶する事が出来んのぢや」
「何故でございますか？」
「大隈は鐵道敷設資公債の



や木戸に戀を賣る様な事は、お前はしないでらう」
おふくはうつむいてゐた顔を上げて江藤をかくく甘く睨むやうにした。

「が、こゝに一人の人鬼が現れたんぢや、紅毛で碧眼で獸肉をくらふ人鬼が、お前に死ぬ程惚れて居るんぢや」

「……」
「でも、大丈夫さんから別に……」

件でパークスに、世話になつて居る、この際世間を拒絶するとパークスも公債斡旋から手を引かふと云ふんぢや。つまりお前の身柄一つを大きくまといパークスが取り引きしやうとして居るんぢや」

「大きくも、まだお前の素性を知らんのさ、そこで今宵お前の歸途を擁し白面書生を使つてお前の行先を突止めさせたのだ。明日あたりお前に直接かひは我が輩に大きくまから談判があるわ」
さうだつたのか……と、おふくは始めて気がついたしかし紅唇を一層固く結んで居る。
「おれはその話には大反対なぢや、かお前は？」
「……」
「おれはお前を愛して居る手離しはでけん、しかしお前の意中？」
疊がけて訊ねる江藤の一本氣をおふくは苦しげに受流した。

福徳堂 内科 電話四〇番

看護婦急派
の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三七〇

磐城セメント會社特約店
久全屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九
良品廉賣に勝る商略なし
確敏實捷はの生命なり

外科科 一般
金成醫院
金成 忠義
平鎌町(電三五八)

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮温湯
丹波博士創製セキドメ
たんぼあめ
靈藥ムテキ
平町古銀治町一
阿康藥舖
縣社ノ下 電話四四番

玉屋洋品店
平町田町通 電話六五六番

門 專
産科 婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町 電話五五九番